



# みなみ小だより

学校教育目標

学び合う子

助け合う子

鍛え合う子

学校だより 10月号  
鹿沼市立みなみ小学校  
Tel 0289-75-4021  
令和2年 10月発行  
文責：後藤 勝浩



★みなみ小ホームページへ

## コロナ禍に学ぶ

コロナ禍の収束はまだ見えませんが、私たちは「新しい生活様式」で毎日を送ることに少しずつ慣れてきたように思います。世界のグローバル化によって、瞬間に感染が世界中に広まりましたが、ウィズ・コロナ、アフター・コロナの社会を見据え、新しい観点（視点）で現在の経済や社会を捉えなおすことが求められています。

学校においても、できるだけ新しい技術を生かしながら、地域社会全体で子どもたちを守り育てることが求められています。コロナ禍においては“他を思いやることの大切さ”を感じる場面がたくさんありました。こんな状況だからこそ、相手を思いやる言動のとれる子どもを地域全体で育てていかなくてはならないと感じています。



今年一番の思い出に・・・



## 修学旅行【第6学年】



●10月1日(木)～2日(金)に、首都圏ではなく東北地方【福島県・宮城県】をコースに選定して、修学旅行に出かけてきました。会津若松市の鶴ヶ城をグループ行動で見学し、猪苗代の野口英世記念館を訪ねました。その後、宮城県の松島で宿泊し、次の日は遊覧船に乗ったり瑞巖寺などを拝観したりして自然や歴史を肌で感じることができました。最後に、水族館でショーや施設を見学した後、帰途につきました。小学校生活の最後の宿泊学習で、仲間との絆をしっかりと深めることができました。



## 臨海自然教室【第5学年】

●新型コロナウイルス感染防止のために、1泊2日と期間を短縮しての臨海自然教室を10月8日(木)～9日(金)に行いました。あいにくの雨という天候が続きましたが、5年生は館内でのプログラムに意欲的に取り組み、思い出に残る作品作りや体験をすることができました。自分たちで考えた「自立と自律」「協力は強力」という合言葉のとおり、一人一人が大きく成長することができた宿泊学習でした。



## 学びの充実を目指して



●「読書の秋」「勉学の秋」を迎えています。本校では、『学び合いを活かした授業の構築による学力の向上』を学校経営の方針の第一に掲げています。ホームページでは、毎日の授業の様子について掲載していますが、その落ち着いた学習の様子は、担任の先生方の工夫や努力によって成立しています。定期的な研究授業をすべての担任が行い、教育委員会から指導者を招いて授業研究会を行い授業の腕を磨いたり、毎日の授業のための教材研究を熱心に行っていることを、子どもたちの学習の様子から感じ取っていただければ幸いです。



## 遠足に行ってきました。 ～10月16日～

### 【1年生】

●宇都宮市の「宇都宮動物園」に行ってきました。動物を見たり触れたりしながら、楽しい体験をすることができました。安全に行動できました。



### 【2年生】

●宇都宮市の「子ども総合科学館」に行ってきました。館内の展示などから科学のおもしろさに興味をもったり外で楽しく活動したりしました。



### 【3年生】

●大田原市の「なかがわ水遊園」に行ってきました。生き物が大好きな3年生は、男女仲よく楽しそうに見学・体験することができました。



## 福祉に関する学習【第4学年】

●9月30日(水)、4年生が点訳グループ「桐」の皆様から点字を学びました。自分の名前を点字版を使って打ち、葉を作成しました。また、10月7日(水)には、手話ボランティアの方を講師に招いて、簡単な手話について学びました。福祉についての学習は、これからの時代において、とても大切なものです。

4年生も、とても熱心に学習していました。



## おいしい給食に感謝しながら..

★本校は自校給食です。校内で給食についての検討委員会を開き、子どもたちの健康のために栄養バランスを考えながら、よりおいしい給食を提供しようと調理員さんが努力してくださっています。「食育」は今後も大切にされるべき分野ですが、毎日ホームページで紹介している“今日の給食”を、ご家庭での食育のヒントにいただけたらと感じています。

